

熊本赤十字病院における制吐薬の基本的な使用方針

催吐リスク	使用薬剤	急性嘔吐	遅発性嘔吐		
		外来化学療法室で使用	Day2	Day3	Day4
		Day1			
高度	アプレピタント	125mg(po)	80mg(po)	80mg(po)	
	パロノセトロン	0.75mg(div)			
	DEX	9.9mg(div)	8mg(po)	8mg(po)	8mg(po)
Grade2 以上の症状継続時は、オランザピン 5mg1 日 1 回 4~6 日間追加する場合あり ※ただし、DM(高血糖)患者には使用しない。また、D2 受容体拮抗薬は併用しない。					
中等度 (オプション)	アプレピタント	125mg(po)	80mg(po)	80mg(po)	
	グラニセトロン (or パロノセトロン)	3mg (div) (0.75mg(div))			
	DEX	3.3~4.95mg(div)	[4mg(po)]	[4mg(po)]	[4mg(po)]
カルボプラチン併用時や遅発性嘔吐の症例では、パロノセトロンを使用するケースが多い。 パロノセトロン使用時は、Day2 以降の DEX([ ]部分)を省略する場合あり。					
中等度	グラニセトロン	3mg(div)			
	DEX	6.6~9.9mg(div)	8mg(po)	8mg(po)	8mg(po)
Day2 以降の DEX 省略時は、代わりにグラニセトロン 2mg(po)が処方される場合あり。					
軽度	DEX	3.3~6.6mg(div)	基本的に処方なし。 状況に応じてメクロプラミドの頓用処方あり。		
最小度	一般的に不要	基本的に処方なし。			

DEX: デキサメタゾン